

一 般 質 問 通 告 書

令和3年2月12日

前

午後2時35分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年2月12日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 馬場 衛



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	コロナ禍での新たな職住近接施策の推進について
2	市制50周年記念事業の実施について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	コロナ禍での新たな職住近接施策の推進について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、私たちの暮らし方、働き方や考えも変わってきた。コロナ禍では対人での営業がしづらくなり特に飲食店、観光業に大きな影響を与えている。都内の老舗でさえ閉店に追い込まれている現状があり、今後も増える可能性は大きい。</p> <p>こうした環境の変化から、都市から郊外へ、働き方も、様変わりし、人口移動では東京からの転出者が40万人を超えていると言われている。</p> <p>このような状況において、静岡県の移住情報サイトへのアクセスが増加しており、本県への移住希望者の関心が高まっている。また、県では仕事と余暇を組み合わせた新しい働き方の「ワーケーション」事業も推進しており、新たな生活・仕事の場として地方を生かすことができる絶好のチャンスと捉えるべきではないか。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>新たな生活・仕事の場として地方に視線が注がれている。居住地として、職住近接を推進する当市を選んでもらえるよう力を入れて欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 職住近接を推進するため、自然が溢れる湖西市の魅力を再発見し、当市に住むと「充実したライフスタイルが送れる」ということを、もっと情報発信してはどうか。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	市制 50 周年記念事業について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>昨年は、新型コロナウイルスの影響で、多くの行事やイベントが縮小または中止となった。また、各地区で開催される祭典行事についても従来の開催ができない状況であった。</p> <p>市制 50 周年記念事業の開催を機に、市内に活力と活性化につながるイベントを開催すべきと考えます。コロナ禍のなかであるが、時期と状況を見極め開催に努めていただきたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>記念事業の実施で市内に活力と活気、街中に笑い声を響かせたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現時点での 50 周年記念事業、イベント等の予定はどうか。 2. 湖西市のメインイベントの「おいでん祭」、「あらいじゃん」、またその他各地域で行われるイベントに 50 周年記念事業の冠をつけて開催する考えはどうか。 3. 新居関所の整備も進んでいる、50 周年を記念し、関所を核としたイベント開催の考えはあるか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 2 月 12 日

前

午 2 時 36 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 3 年 2 月 12 日

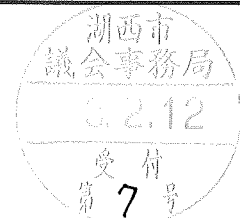
湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 荻野利明



質問方式 (○を付ける)	一問一答	一括の質問答弁
番号	主 題	
1	小学校 35 人学級への効果と課題は	
2	生活保護行政について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照



番号	主 題
1	小学校 35 人学級への効果と課題は
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>小学校において令和 3 年度 (2 年生) から令和 7 年度 (6 年生) にかけて順次 35 人学級を実現することが決まった。少人数学級で一人ひとりに行き届いた教育を実現するための第一歩になると思う。さらなる少人数学級を目指していく良い機会になると思う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>35 人学級にすることでどんな教育効果が望めるのか。また、35 人学級実現に向けた課題について、教育委員会の考えを伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いじめ問題・不登校問題などへの効果はどうか。 2. GIGA スクール構想に対する効果はどうか。 3. 市内すべての小学校において教室の確保はできるのか。 4. 教員の確保はできるのか。また、教員の質の確保も重要と考えるがどうか。 5. 教員の過重負担の解消も重要な問題であると思いますが、どう解消していくのか。 6. 「一人ひとりに行き届いた教育を」という事を考えると 35 人学級ではまだ多いと思うが、さらなる少人数学級に向けた考えを伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

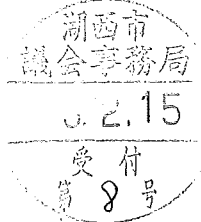
番号	主 題
2	生活保護行政について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>コロナ禍の影響で失業者・生活困窮者が増え続けるなか、「最後のセーフティネット（安全網）」である生活保護の役割が問われています。生活保護が必要な世帯の2割しか利用できていない状況で、菅首相もコロナ禍で困窮する人は「最終的には生活保護がある」と答弁し、国民の権利として生活保護を受給するよう求めました。ところが申請者が増えていません。その原因は「扶養照会」（申請者の親や配偶者だけでなく兄弟、孫などの親族に対し、生活の援助が可能かどうか問い合わせるもの）があるためです。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>「扶養照会」があるため、申請をためらう人がいます。田村厚労相も「扶養照会は義務ではない」と国会で答弁しています。「扶養照会」をやめて、コロナ禍で生活に苦しむ市民を生活保護に結び付けていただきたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ禍で、最近の生活保護の申請状況はどうなっているか。 2. 「扶養照会」はやめるべきではないかと考えるが、湖西市では適切な運営がされているか伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和3年2月15日

前
午9時 21分 受付
後



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年2月15日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 佐原佳美



質問方式 (○を付ける)	一問一答	一括の質問答弁
番号	主 題	
1	発達に課題を持つ子どもへの支援について	
2	避難所開設手順が分かる「初動活動ボックス」の配備について	
3	「重大いじめ対応マニュアル湖西市版」の作成について	
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	発達に課題を持つ子どもへの支援について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和元年12月定例会で私は「発達に障害を持つと思われる子どもへの支援システムについて」を一般質問しました。</p> <p>質問した経緯は、特別な支援を必要とするお子さんを持つ親御さん達から幼稚園入園や小学校入学前の相談で市役所を訪れた際の関係各課たらい回し等の対応に不満を訴えられ、相談に同行した中で、市役所全体で市民に寄り添うサービスの提供に心掛けて頂きたいと思ったこと。とりわけ複数の課が関わる発達に課題をもつ子どもへの相談には、各課が密接な連携を図り、子どもの入園、入学などライフステージに合わせた途切れることのないスムーズな支援ができるシステムやその情報をつなげていく相談拠点となる部署の創設が急務と痛感したことからでした。</p> <p>市長からは、令和3年度からの開始を目標に、新たな子育てワンストップ体制整備ができればと答弁がありました。</p> <p>そして、今年、令和3年2月12日の議員全員協議会で、組織改編により子育て支援課が「子ども家庭課」に改められ、「子ども家庭相談係」が新設されると説明がありました。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>発達に課題を持ち特別な支援が必要とされる子どもに対し、初期段階からの的確な支援情報が提供でき、成長に伴う情報を蓄積しライフステージごとに情報をつなげて、途切れることのない相談支援ができるシステムとその拠点となる専門部署の設置を熱望するため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども家庭課と隣に移動する幼児教育課で、発達に課題があると思われる子どもへの対応はどのように連携するのか。情報共有システム等の準備・構築状況を伺う。 2. 発達に課題があると思われる子どもの相談に対応する専門職員は、新たに配置されるのか。 	

番号	主 題
2	避難所開設手順が分かる「初動活動ボックス」の配備について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>間もなく迎える今年の「3.11」は、東日本大震災より10年目。</p> <p>そして、2月13日夜間に、再び東北地方に震度6強の地震が発生し、建物の倒壊や土砂崩れ、断水、停電等、広い地域で被害が発生し、けが人やコロナ禍の避難所を利用する被災者もありました。10年目でも地球規模では東日本大震災の余震との事です。お見舞い申し上げます。</p> <p>当市では、東日本大震災の翌年より実施してきた「湖西市3.11夜間避難訓練」もコロナ禍で昨年に続き自粛や縮小開催する自治会が多いようですが、防災・減災意識を風化させない取組が大事と思っていたところに余震がありました。また、1月末の公明新聞に『避難所開設をスムーズに必要な資材を収納“初動活動ボックス”配備』との見出し記事があり、提案しなければと思いました。これは、2017年9月定例会で近隣市の公明党沢田都史子市議が「避難所を立ち上げる時に必要となる備品を各避難所にまとめた形でストックしておくべきだ」と作製を提案し実現したものです。</p> <p>当市では、『避難所運営マニュアル』は、指定避難所ごとに作成されつつあり、市が(共通編)として示している『湖西市指定避難所マニュアル(共通編)』には昨年、新型コロナウイルス感染症対策が追加されましたが、避難所開設手順はDVDが配布され、地元自治会では一昨年一度視聴しただけです。役員が変わり、訓練自粛で視聴していない住民が多い中、発災したら避難所開設はパニックです。</p> <p>新聞によると、近隣市の担当課は『発災後の混乱時に誰が来ても避難所開設をスムーズに行えるようにすることを重視し、初動に必要な物を一つのボックスにまとめることにした。中でも、開設手順を分かりやすくサポートするのが、「避難所開設アクションカード」(A4判、20枚つづり)で避難所運営マニュアルや新型コロナウイルス感染症に配慮したガイドラインを基に①鍵の入手②建物の安全確認③3カ所の受付設置④居住スペースの分け(ソーシャルディスタンス確保)⑤簡易トイレ設置—などについて実施方法や判断基準を写真や図を活用して分かりやすく表示し、アクションカードの</p>	

順番通りにめくっていけば、次になにをすればいいかが一目でわかる。発災時のパニックを防止するとともに、安全に避難所を開設するまでのシナリオの役割を担う。ボックスには、他に体温計やマスク、アルコール消毒液、健康チェックリスト、受付や出入口を示す看板、約40枚の避難所用ピクトグラム（案内用絵文字と説明文：5か国語対応）外国人向け4か国語「お知らせカード」（「困っていることはありませんか」「飲み物を配ります」等）、動線を示す足跡マークや矢印マークをラミネートした表示物、避難所運営委員用のチョッキ等20品目が収納されており、夜間でもボックスの位置が分かるように夜光テープを貼って保管する。』とのことで、沢田市議は、このボックスを開けて皆で「避難所開設アクションカード」（A4判、20枚つづり）をめくって、手順を確認するだけでも十分避難所開設訓練になると事前活用の有効性も言われ、ローカル新聞でも取り上げられたそうです。

（質問の目的）

災害により、避難所開設が必要となった際に、誰でも避難所開設がスムーズにでき、市民の命を守れるように準備したい。

（質問事項）

1. 近隣市が独自に作製した「初動活動ボックス」は、民間企業でも作成しており、それを活用している市町もあるようだが、避難所開設がスムーズに運び、平時の避難所開設訓練も容易にできる「初動活動ボックス」を当市でも早期に各指定避難所に配備すべきと思うが、いかがか。

番号	主 題
3	「重大いじめ対応マニュアル湖西市版」の作成について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>4年前より、不登校になったお子さんの相談を2件受けてきました。</p> <p>直近の1件は、教育委員会、家庭児童相談室の先生方とも情報共有して見守らせていただいておりますが、未だ登校には至っていません。楽しいはずの学校生活を送られていないことが残念で仕方ありません。</p> <p>そんな中、本年2月3日の新聞に静岡県教育委員会が「重大いじめ対応独自マニュアル」の見出しで「いじめで児童生徒が自殺したり、長期間不登校になったりする重大事態が発生した場合の、学校や県教委、県知事の具体的対応をまとめたマニュアルで、全容解明を進める目的で昨年11月から作成を始めた。」「法律やガイドラインの趣旨に沿った調査のポイント等をまとめたほか、対応に漏れがないようにチェックシートもつけた」「三月の運用開始を目指し、各県立学校に配布する。全容解明、再発防止に取り組み子どもや保護者の悩みを解消していきたい。」とありました。</p> <p>相談中の親御さんが希望している「全容解明」が示されており一筋の光が見えた気がしました。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>全ての子どもが希望に満ちた楽しい学校生活を送れるような対応を市として行う「重大いじめ対応マニュアル湖西市版」を作成して欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いじめが原因で不登校になっていると思われる児童、生徒の現況は。 2. 現在「いじめ対応マニュアル」は、各小中学校共通であるのか。 3. 県立学校に配布予定とあるが、これを参考に湖西市版を作成してはいいかがか。 	

一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 2 月 15 日

前
午 10 時 00 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 3 年 2 月 15 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 二橋 益良



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西地域職業訓練センターの活用について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西地域職業訓練センターの活用について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>職住近接を湖西市戦略テーマとして位置づけ、市の活性化を促しているところですが、新型コロナ禍による停滞と、職種においては持続が予測できなく就業形態も変化し今後も引き続き、雇用の維持すら難しくなっておりまます。また、産業の変化により、脱炭素化による自動車産業の構造変革による生産部品の影響は、今後の産業育成を見据えた戦略が重要となっております。過去の産業革命に匹敵する社会変化ではないでしょうか。職住近接が湖西市の最重要課題であるなら、先を見据えた戦略として産業の育成と雇用を確保する事業展開が行政としての施策を考えるべきであると思います。そこで行政主導にて、湖西地域職業訓練センターの活用がキーマンとなり、職業訓練校がその役割を担うべきであることは明確であります。企業からの支援を生かし訓練センターと商工会が連携して行政はその連携を構築し、将来後れを取らない湖西市の発展に尽力すべきであると思います。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>雇用と産業の育成には、湖西地域職業訓練センターの活用による戦略の構築により、職住近接によって人口増につなげる施策をお聞きします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナ禍における業種の変化と雇用をどのようにとらえていますか。 2. 産業構造の変革をどのようにとらえているかお聞きします。 3. 今後の湖西地域職業訓練センターをどのように活用をしていくのかお聞きします。 	

4. 訓練センターでの講座を企業とどのように調整していくのかお聞きします。
5. 訓練センター内の企画会議の展開をどのように発展させていくのか。またどのように市内企業のニーズをとらえていくのかお聞きします。
6. 訓練センターの設備と機器をどのように整備していくのか。
7. 訓練センターと湖西市内両商工会との連携をどのように展開するのか。
8. 訓練センターの事業展開の施策は、行政による調整と主導が必要であると思いますがどうですか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

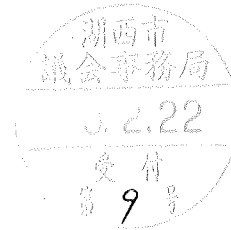
令和 3 年 2 月 22 日

前
午 11 時 01 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 3 年 2 月 22 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



追加

湖西市議会議員 二橋 益良



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
2	施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	施政方針について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市長2期目の当初にあたる施政方針であり、コロナ禍での減収と対策に寄与した令和3年度予算に対し、持続可能な市政運営に市民の不安と期待に答えるため厳しい選択とかじ取りの戦略が期待されています。まずはコロナ感染の阻止と疲弊した経済（特に中小の事業者）救済の途切れのない特化した来年度予算編成が望まれると思います。また、経済活動の変革も考慮した新たな産業基盤の創設は必携であり、今後の持続可能な湖西市運営戦略こそがカギとなってまいります。過去の既存にとらわれることなく新時代への突入時期として目的に沿った事業展開こそが、正に「全力投球」で臨むべきであると思います。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>持続可能な市政運営に、市民の不安と期待に答えるための厳しい選択とかじ取りによる施策についてお聞きします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 税率引き下げの影響のほかどのようなことから法人市民税の減収を約10億円と見込みでいるかお聞きします。また、その対策としてどのようにお考えか。 2. コロナ禍対策としてワクチン接種は喫緊の問題であるが、アフターコロナの経済面での支援施策をお聞きします。 3. 「産業の振興 ～モノづくりは人づくり」の中で、「モノづくり推進室」の活用について詳細をお聞きします。 4. 「観光・シティプロモーションの推進」の中で、新居弁天地区におけるわんぱくランドの位置づけをどうお考えか。 	

5. 市民交流複合施設の進捗については、計画の段階的な取り組みが必要であると考えているが如何か。

質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

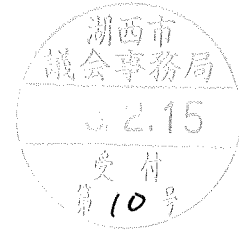
令和 3 年 2 月 15 日

前
午 10 時 4 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 3 年 2 月 1 5 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 土屋 和幸 印



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市の認知症対策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の認知症対策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>高齢化が社会的な問題になって随分な時が経過しています。核家族化、親族が遠方にいる、身内がない等、高齢者を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。今回は、その中で認知症対策についてお聞きいたします。</p> <p>認知症になると、本人はもとより家族は大変な思いをいたします。</p> <p>私の知人で、認知症の方が、東京に住んでいる一人息子に通いで介護してもらっていたが、とうとう息子が診ることが出来なくなって、湖西の家を売り、その方は施設へ入ることになり、湖西市から縁がなくなってしまいました。今まで、湖西市に納税をして地域に尽くしていただいた方の人生はなんだろうと思うと、何かしらできなかつたか自分に問いかけました。</p> <p>75歳以上の高齢者は、約8,000人見えるわけでした程度の差がありながら5人に一人が認知症になると言われています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市の認知症対策の現状について確認するため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症についての、相談件数・啓発活動の状況を伺います。また、対象者人数から、その実状との差をどのように捉えていますか。 2. 認知症家族へのケアはどのようにされていますか。 3. 身内、地域で援助が期待できない、相談する人がいないケースは、どのように対応されていますか。 4. 成年後見人制度は十分利用されていますか。又、今年度の実績について伺います。 5. 民生委員は、認知症対策にどのように関わっていますか。 	